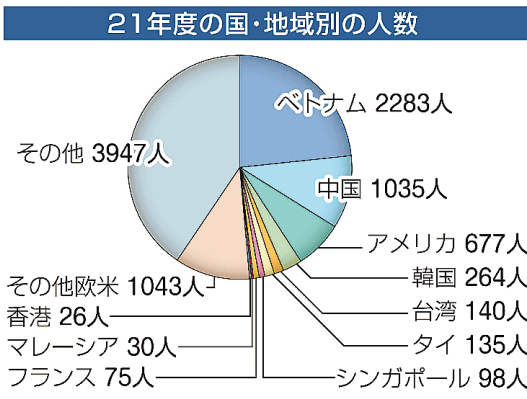
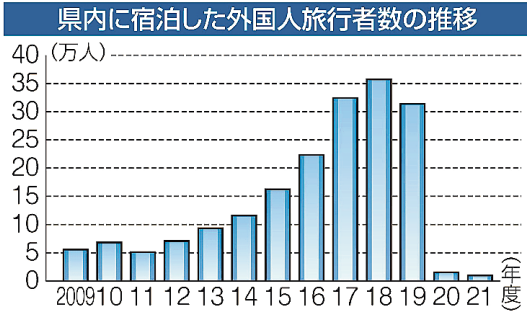


岡山県が2021年度に県内に宿泊した外国人旅行者数をまとめました。記事を読み質問に答えましょう。

外国人宿泊最少9753人



21年度県内 入国制限、移動自粛響く

県は2021年度に県内に宿泊した外国人旅行者数をまとめた。総数は9753人。年間を通じて新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国制限が続き、同じくコロナ禍にあった20年度比で36.0%の減と、04年度の統計開始以降で最少だった。コロナ禍前の19年度比では96.9%の減。ただ訪日客は6月以降、段階的に受け入れが再開されることから、22年度は回復が見込めるとしている。(大橋孝平)

県によると、政府は20年12月から原則として全ての外国人の新規入国を停止している。ビジネス関係者や技能実習生らを対象にした入国制限緩和の期間が、20年度は約半年あったのが21年度は約2カ月にとどまった。

県内の外国人宿泊者の大半が、もともと国内に住む外国人や技能実習生が県外から訪れたとみられ、政府が県境移動の自粛を長期間要請していたことも要因となったという。

国・地域別では中国が10人もコロナ後を見据え、中国や最も多かったのはベトナムの2283人。入国制限が緩和された時期に技能実習生らが来県したとみられるが、それでも20年度より67.1%減った。

県はこうした状況にありながらもコロナ後を見据え、中国や韓国、フランスといった6カ国・地域に設けたPRデスクを通じて岡山の最新情報を発信。県の多言語サイトでも観光施設を紹介するなどのプロモーションも続けてきた。

訪日客を巡っては、政府が6月10日から添乗員同行のパッケージツアーに限定して受け入れを再開すると表明。県観光課は「回復に向けて待ちに待ったチャンスだ。訪日客を一人でも多く呼び込めるよう準備を進めたい」としている。

5月31日付山陽新聞、全県版

Q1 2021年度、岡山県内に宿泊した外国人旅行者は、統計を始めた04年度以降で最少となる9753人でした。その要因について、見出しを読み答えましょう。

Q2 どの国・地域の外国人旅行者が多かったでしょうか。記事の中の円グラフを見て、上位三つの国・地域（「その他」は除く）を答えましょう。

Q3 岡山県を訪れる外国人を増やすため、県はどのような対策を行っていますか。第6段落から抜き出しましょう。

過去の問題は
 こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。